

# 大智院種

## 「臨床密教センター」新設

### 来年4月 現代社会の諸問題を研究

学校法人綜藝種智院が運営する京都市伏見区の種智院大は、密教の教えを基に現代社会の様々な問題と向き合い、解決方法を探る「臨床密教センター」を来年4月に開所

する。真言宗僧侶や一般向け教養講座を開き、東北大学院実践宗教学寄附講座と連携して「臨床宗教師」も養成する。研究の結果は、公開講座などを

同じ社会に発信する。同センターは、少子高齢化や核家族化など、現代社会の諸問題に、密教的アプローチを試みる研究機関。センター長に取得し、臨床宗教師研修

## 臨床宗教師の養成も

来年夏から  
研修講座

にも参加している種智院大の松本峰哲・准教授（専門・インド哲学）が就任する予定。

種智院大での臨床宗教師研修は来年夏頃の開講を目指しており、東北大学院のカリキュラムに準じた講座になるとい

関連事業として、来年2、3月には一般向け連続講座「臨床スピリチュアルケア学と臨床宗教」を開く。高野山大客員教授の天下大圓・飛騨千光寺住職が講師を務める。同大は「オール真言宗の大学として密教的アプローチを大事にしながらも、宗派の枠を超え、多くの人が集まる大学にしていきたい」としている。

（呉恵順）